

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都品川区小山 5 丁目 24 番 10 号 ナカヤマビルディング 1 階
園名	GG International School 武蔵小山校

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

当校は、毎年音楽発表会や冬の発表会を既に行っているため、さらに音に対する興味や理解を深める良い機会のため。

### 2. 活動スケジュール

すくわくのテーマに沿った音にフォーカスした音楽のレッスンを週一回

(基本**火曜日**だが他の活動との兼ね合いで随時変更)

※上記の専用の時間以外にも、毎日の活動の中でも意識的に取り入れるよう、担任の先生と調整した

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定 (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ベル、マラカス、ドレミパイプといった、それぞれ異なる素材・鳴り方・音階を持つ楽器を用意し、自由に触れて音の違いを比較できる環境を設定した。また、パラシュートを使って体全体で「音 (リズムや強弱)」を視覚的・体感的に捉えられるよう、音楽に合わせて複数人で自由に動ける広いプレイスペースを確保した。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

#### 1. 問いを考える

楽器ってどんな種類があるの？

楽器ってどんな音がするの？ 壊れやすい？

音階ってなに？

音に合った動きを探してみよう

周りの音ってどんな物がある？

#### 2. 環境をデザインする

ピアノ、ドラム、打楽器、ベル、パラシュートなどを使って、音を探求する

#### 3. 探究活動を実践し、記録する】

4. ピアノ、ドラムなど準備した様々な「環境」の中で、音の変化を体感する。それぞれの楽器を使って楽しんでいる様子を、写真で記録する。
5. 振り返る・共有する
  - ・週次 Weekly ミーティングで状況や学びについて職員間で共有
  - ・連絡帳アプリ CODMON を通して、保護者へ学びや気づきについて共有
  - ・レスンプラン MTG で次回のレッスンを検討するための振り返り

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

ドレミパイプの探究：長さによって音が違うことに気づき、「こっちの長い方が低い音がする！」「床を叩くのと、壁を叩くので音が違う」と、自ら叩く場所や長さを変えて音の違いを試行錯誤する姿が見られた。



パラシュートでの協働：音楽のテンポや強弱に合わせて、「今はゆっくりだね」「もっと早く（大きく）揺らしてみよう！」と子供同士で声を掛け合いながら、音の波をパラシュートの動きで表現し、体全体で音との連動を楽しんでいた。



音のイメージ化：マラカス、ベルを鳴らしながら「雨の音ができる」「風みたい」など、身近な自然の音に見立てる発言があった。保育者が「本当だね、他にはどんな音が隠れているかな？」と問いかけることで、子供たちはさらに想像を膨らませて様々な鳴らし方を試していた。

マイクを使うことで普段聞こえている自分の声となりが違うか、興味津々に何度も試していた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき> (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- 最初は音の響きに驚いたり、ただ叩く感触を楽しんだりする姿が中心でしたが、保育者や友達の真似をして「優しくトントン」「強くバンバン」と鳴らし方を変えると音が変化することに自ら気づき、夢中で試行錯誤を繰り返す様子が見られました。
- パラシュートを使った活動では、音楽の大きさに合わせて布がフワッと膨らんだり波打ったりする視覚的な変化に大喜びし、全身を弾ませて「音との一体感」を味わっていました。まだ言葉で表現しきれない感覚を、体全体でたつぷりと吸収しているようでした。
- 戸外遊びや食事の時間にも、スプーンでお皿を軽く叩いてみたり、歩く時の足音の違いに耳を傾

けて立ち止まったりと、日常の中で自発的な「音探し」を楽しむようになりました。特別な時間の体験が、日々の生活の中の身近な探究へと自然に繋がっていることを実感しました。